

せんだい  
仙臺まちあるき虎の巻

閑静な街並みに残る  
文学者ゆかりの地を巡る

その九



◆歩行距離：4.4km ◆所要時間：約2時間20分（見学時間含む）  
※施設の開館日時などについてはお問い合わせください 問【阿部次郎記念館】☎267・3284【東北大学史料館】☎217・5040【晩翠草堂】☎224・3548

仙台には、杜の都を愛した文人たちの足跡が数多く残っています。今回はその一端をご紹介します。地下鉄愛宕橋駅を出発し、住宅の立ち並ぶ路地を進むと、阿部次郎記念館（図①）が見えてきます。阿部次郎は、東北帝国大学（現在の東北大学）の教授を務めた哲学者・文学者。記念館では、かつて青春のバイブルとして若者の支持を得た「三太



▲米ヶ袋の住宅地にある阿部次郎記念館

郎の日記」をはじめとする著作や書簡、書画などを展示しています。さらに広瀬川沿いを北に歩く

と、閑静な路地は程よいアップダウンで、肌寒さも吹き飛びます。やがて東北大学片平キャンパスが見えてきました。大学内にある東北大学史料館（図②）では、大学の歴史等に関する資料を展示。その中には、近代中国を代表する作家・思想家である魯迅の学生生活をたどる展示も公開しています。東北大学の先には、魯迅が仙台留学当時に下宿していた場所を示す石標（図③）も立っており、仙台の地で、医学から文学の道へと転向を決意した文豪にしばし思いを馳せます。

仙台高等裁判所前を抜け、青葉通に面する晩翠草堂へ。ここは、「荒城の月」の作詞で知られる詩人・土井晩翠が晩年を過ごした邸宅。市で建物を保存・公開しており、当時をしのぶことができます。澄み切った冬空の下で、文学者ゆかりの地の数々をたどってみては？



▲晩翠草堂では、著書や写真を展示しています

ごみ減量・分別の豆知識

3010運動を実践しましょう



ワケアップ! 仙台

「3010（さんまるいちまる）運動」をご存知ですか？ 宴会における食べ残しを減らすために、「乾杯後30分間」は席を立たずに料理を楽しみ、「お開き10分前」になったら自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょうという運動です。



これからは忘年会、新年会と宴会が続く季節です。友人や職場の仲間たちと、一人一人が「モットナイ」を意識して、楽しくおいしく食品ロスを減らしましょう。

問家庭ごみ減量課☎214・8229、FAX214・8277

知って役立つ！ ワンポイント防災講座

サバメシを作ってみよう！

サバメシとは、「サバイバルメシ」の略で、災害時に非常食を、簡単によりおいしく作るものです。災害時のおいしい食事は、疲れた体や心を癒してくれます。もしもの時のために、自宅で備蓄している非常食を使って、家族や友達、地域のみなさんとサバメシを考え、作ってみてはいかがでしょうか。

カンパンのフロランタン風お菓子  
（泉地区婦人防火クラブ考案）

- ①熱したマーガリンに砂糖を加える
- ②カンパンを砕いて、①に絡める



問減災推進課☎214・3109、FAX214・8096